

BglII

I. 認識配列

5'.....GCCN NNN▼NGGC.....3'
3'.....CGGN▲NNN NCCG.....5'

II. 保存

-20℃

III. 活性定義

1 unit は、反応混合液 50 μl 中、1 μg の λDNA を 37℃、60 分間で完全に分解する酵素活性とする。

IV. 起源

Bacillus globigii RUB561 (BglII free strain)

V. 形状

200 mM NaCl
50 mM Tris-HCl (pH 8.0)
1 mM EDTA
1 mM DTT
1 mM Sodium azide
0.5 mg/ml BSA
50% Glycerol

VI. 酵素反応条件

・反応温度 : 37℃
・バッファー : H $\left\{ \begin{array}{l} 100 \text{ mM NaCl} \\ 50 \text{ mM Tris-HCl (pH 7.9)} \\ 10 \text{ mM MgCl}_2 \\ 1 \text{ mM DTT} \end{array} \right.$

VII. 添付品

・10 x H Buffer (赤色ラベル)
添付反応バッファーは、酵素反応条件の 10 倍濃度です。
制限酵素のチューブのラベルと同色のラベルのものをご使用ください。

VIII. 反応バッファー別相対活性

Buffer	L	M	H	A	B
相対活性 (%)	(10)	(50)	100	(10)	25

IX. 純度

本酵素 20 units と 1 μg の λDNA を 37℃ で 5 時間反応させた後、アガロースゲル電気泳動を行った結果、切断パターンに変化は認められない。

X. 結合試験

本酵素で完全に切断された λDNA フラグメントの 90% が T4 DNA リガーゼで結合され、そのうち 100% が本酵素で再切断される。

XI. 備考

制限酵素のスター活性やメチル化の影響など、さらに詳しい情報についてはニッポンジーンのホームページをご参照ください。

本品は、試薬(試験研究用)として販売しているものです。
医薬品の用途には使用しないでください。